



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第170号

2016年
10月号

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

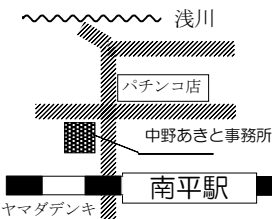
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



9月議会 一般質問

都知事選挙の結果から考える 日野市として生かすべきこと、やるべきこと

7月31日投開票で行なわれた都知事選挙の結果、小池都知事が誕生しました。どう考え対応したらいいのか―私は、誰が当選したのかということより、選挙前後の動き、築地市場の移転延期表明も含めて、都民の声、都民世論が動かしてきている、そうとらえることが非常に大事だと考えています。

舛添問題をはじめ利権追及、情報公開への姿勢しかり、膨大に膨れ上がった東京オリンピック・パラリンピック予算の縮減姿勢しかり、待機児童ゼロ、給付型奨学金の創設、そして多摩格差ゼロ公約しかりです。

以上、新たな状況が生まれている中で大坪市長の考えを問い、積極的な対応、取り組みを求めました。以下、主なやり取りの概要を紹介します。

■保育園の待機児解消へ■

（中野）日野市の認可保育園の待機児は372名にも及んでいる。都は待機児問題で補正予算を組んで対応しようとしている。市もこの動きを生かして、来年度へ向け保育園の緊急増設などを具体化すべきではないか。

（部長）来年度へ向けて当初

の140名の定員拡大計画に上乗せをして172名分の整備を行なう予定。130名定員の認可保育園の設置、12名の小規模保育事業、30名の認可保育園の分園開設で172名となっている。

■給付型奨学金の拡充を■

（中野）小池都知事は、当選後のインタビューに答え、高校生向けの給付型奨学金創設を図っていきたくて発言している。市では、現在高校生向けの月額1万円の給付型奨学金制度を実施しているが、この東京都の動きを踏まえ、市として大学生向けの奨学金制度などへの拡充を図ってほしい。

（部長）まずは、現在の市の奨学金制度についてさらなる制度の周知や貧困対策協議会でも議論、子どもの生活実態調査の結果などを踏まえた検討を重ねてまいりたい。

■多摩格差解消へ■

（中野）23区と多摩地域との格差問題がこれほど焦点になった都知事選挙はない。小池都知事も多摩格差ゼロを公約にかかげた。多摩格差解消は、市民生活に関する政策を充実

することにつながる。市として積極的にこの公約の実施を迫っていくことが重要ではないか。

（市長）いま議論にあった通り。他にも財政力の格差などある。ものすごい格差、同じ東京都の自治体と比べると、多摩格差何とかがしてほしい、これを実行に移していただくために、全力を挙げて働きかけていきたい。

中野あきと

地域で手づくりの演説会にご参加を。

【主催】南平、平山、豊田、西平山、平山公社の党支部・後援会

▶日時11月13日（日）午後6時開場。6時30分開会

▶七生公会堂（京王線・高幡不動駅南口徒歩7分）

▶スペシャルゲスト 山添 拓（党参議院議員）

曽根はじめ（党都議団副団長）

▶報告とお話し 中野あきと（市議団長・都議予定候補）

（お問合せ）中野あきと事務所（電話042-599-3350）

短信

築地市場にはもとより整備の計画があった。それを破棄し、強引に豊洲買収に走ったのは石原都政だった。共産党都議団は当初から現地調査も行い、豊洲は市場として相応しくないことと反対してきた。議場での追及にヤジの大合唱で応じたのは、他ならぬ自民、公明の石原与党だった▼

「流れの中で」「空気の中で」という盛土問題の責任。都庁全体の「ガバナンスの欠如」でお茶を濁されては困る。その背景には隠ぺい体質と共に、物も言にくい庄政下の雰囲気もあったのではないのか。戦争責任をあいまいにした「二億総さんげ」と同じでは都民は浮かばれない▼「盛土問題」に続き大手ゼネコンによる施設建設工事費の談合疑惑。628億円の当初予定価格が1035億円に跳ね上がった。前回都議選で倍加させて頂き、17名に躍進した党都議団が力を発揮した▼この都議団をもっと大きく。膨れ上がるオリンピック経費。保育園待機児童の解消と特養ホームの増設。ミニバス路線の拡充や多摩都市モノレールへのシルバークパスの適用、防災対策など課題は山積だ。来年度は都議会議員選挙。二人区の日野選挙区に市議19年の中野あきとが挑む。（K）

北川原公園のごみ搬入路は違法

東京地裁へ市民が提訴

日野市民96名は10月3日、大坪冬彦日野市長に対して北川原公園予定地にごみ搬入路を建設することは違法であるとし、設計・建設費用の支出差し止めを求める訴訟を東京地方裁判所に起こしました。

「所有目的」に反する運用は違法

地方自治体の財産は、地方財政法第8条で「その所有の目的に応じて」運用しなければならないと定めています。

北川原公園予定地は、公園として利用することを都市計画で決定し、その目的のために税金を使って買収した公有財産です。ここへのごみ収集車の専用路設置は、まず都市計画変更という法的手続きを行い「その所有の目的」を変更しなければなりません。それをやらず、これから30年以上もごみ収集車の専用路として利用するというのは、市長の権限を大きく逸脱する違法行為としています。

ごみ問題の解決は住民自治と民主主義を貫いて

基本計画（「ごみ処理施設建設基本設計書」2014年3月）はわずか3カ

月で策定されました。他の自治体では5年、10年かけて慎重につくっているのに比べ、計画がずさんなものになったのは当然です。ごみ搬入路についても、計画段階でいいないな検討がなされておらず、今になってあわてているのです。

もともと、ごみ問題は市民参加と住民合意がなければ解決できません。行政が公然と法を犯して強行するなど論外です。市民の力でストップをかけましょう。もう一度、日野、国分寺、小金井の市民が自分たちのごみをどう処理するのか、出発点に立ち返って話し合うことが、求められているのではないのでしょうか。



政策を訴える中野市議・都議予定候補
高幡不動駅前

《ミニバス・南平路線》 「北野街道循環」が運行開始

10月1日からミニバス・南平路線「北野街道循環」が運行開始しました。

路線は、南平2丁目の「北野街道口」から北野街道を走って高幡不動駅までの路線で、途中の高幡橋近く「南平」にのみ停車します。

従来の午後3時台～8時台の高幡不動駅発、鹿島台経由「北野街道口」行き止まりで、その後は「回送」としていた経路車両を営業運転としたものです。

この路線の運行は、多くの近隣住民から望まれていたものですが、北野街道の交通渋滞を引き起こすということで、残念ながらバス停の新設はありませんでした。北野街道の「拡幅待ち」（日野市の説明）とのことです。なお、料金は180円です。

（例）
の「北野街道口」発

時刻表

時台	分	分	分
15	30	—	—
16	10	50	—
17	30	—	—
18	10	50	—
19	30	50	—
20	10	30	50

南平のヤマダ電機閉店跡地はスーパーヤオコー

10月上旬、南平にあったヤマダ電機が閉店になりました。

建物はいったん取り壊され、その跡地に埼玉を中心に東京都内でも8カ所（八王子や立川にも）の店舗がある「スーパーヤオコー」が施設をつくり営業開始の予定となっています。店舗は1階で、2階と北野街道側の平地部分に駐車場がつくられる見込みとのことです。



北野街道を走るミニバス

《2016年 11月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
11月 10日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見
お寄せ下さい。